

令和2年度 平取ダム工程コスト検討委員会の  
審議結果について

国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部では、沙流川総合開発事業（平取ダム）において、適切な事業執行及び総合的なコスト縮減策について専門家等の第三者からの意見・助言をいただくため、「平取ダム工程コスト検討委員会」を書面にて開催しました。

1. 日 時 : 令和2年11月18日(水)
2. 場 所 : 書面による開催
3. 委 員 : 鈴木 克典 北星学園大学経済学部経営情報学科教授  
◎藤間 聡 室蘭工業大学名誉教授  
山下 弘市 元北海道土木技術会コンクリート研究委員会委員  
◎委員長(※50音順)

4. 審議内容

(1)事業の進捗状況

○事業の概要

- ・実施箇所 北海道沙流郡平取町
- ・事業期間 昭和48年度～令和3年度
- ・総事業費 約1,410億円

○事業状況

- ・事業費ベースの進捗率は令和2年度末で約94%予定。
- ・流域の社会情勢に大きな変化なし。
- ・令和2年度は本体工事等を実施。

(2)令和2年度工事内容

(3)コスト縮減への取り組み

【前回の意見に対する取組状況】

- ・引き続き、イニシャルコストとランニングコストを踏まえた上で、コスト縮減に努める。
- ・残工期の中で、可能な限りコスト縮減に取り組んでいく。

【今年度以降のコスト縮減】

- ・堤体材料の廃棄岩の有効活用
- ・工事間のクレーン共用
- ・ダムコン設置機器の汎用品への見直し
- ・堤頂部における照明設備の簡素化
- ・係船設備の簡素化
- ・監査廊内照明のバッテリーの集約化

## 5. 審議結果

### ○主な意見

- ・順調に建設が進捗している様子が見える。
- ・事業も終盤を迎え、新たなコスト削減策を図ることが困難である中、継続して削減に尽力されている。
- ・最終年に向けて、引き続き積極的にコスト削減に取り組んでいただきたい。
- ・コスト削減に向けた打合せ等の取組状況について、整理して頂きたい。